

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成25年5月30日(2013.5.30)

【公表番号】特表2013-504467(P2013-504467A)

【公表日】平成25年2月7日(2013.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-007

【出願番号】特願2012-528406(P2012-528406)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/32 (2006.01)

B 6 0 N 2/28 (2006.01)

B 6 0 N 3/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/32

B 6 0 N 2/28

B 6 0 N 3/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着座部表面(11)を有し、かつ原動機付き車両のフロア(3)に取り付けられるよう
に適合させた着座部材(1)を含む原動機付き車両用シートであって、前記着座部材(1)
が2つの座部側面(13)を含み、これらの座部側面(13)が前記着座部表面(11)
を介して連結され、これらの座部側面(13)のそれぞれが自由辺縁(17)を有する
ことを特徴とし；第1使用位置では、これらの自由辺縁(17)が前記着座部表面(11)
よりも上方に配置されることを特徴とし；第2使用位置では、これらの自由辺縁(17)
が前記着座部表面の下に配置されて、前記着座部表面(11)がこれらの座部側面によ
って持ち上げられるようになることを特徴とする、原動機付き車両用シート。

【請求項2】

これらの自由辺縁(17)が前記第1及び第2使用位置において、前記フロア(3)に
形成される開口部(39)の周縁(38)と相互作用することができることを特徴とする
、請求項1に記載の原動機付き車両用シート。

【請求項3】

前記第2使用位置では、前記着座部材(1)が補助椅子を形成することを特徴とする、
請求項1又は2に記載の原動機付き車両用シート。

【請求項4】

前記着座部材(1)が、前記着座部表面(11)の裏側に配置される相補的嵌合着座部
表面(2)と、安全ベルトストラップを案内する手段(23, 23')とを含むことを特徴と
する、請求項3に記載の原動機付き車両用シート。

【請求項5】

前記着座部材が、前記着座部材が前記第2使用位置に収納される場合に前記相補的嵌合
着座部表面(2)の各側に1つずつ延設され、かつ前記相補的嵌合着座部表面(2)より
も上方に延設される2つの相補的嵌合座部側面(21)を含むことを特徴とする請求項4
に記載の原動機付き車両用シート。

【請求項 6】

前記案内手段が相補的嵌合座部側面に形成されることを特徴とする、請求項 5 に記載の原動機付き車両用シート。

【請求項 7】

前記着座部材(1)が前記着座部表面(11)に略直交し、かつ背もたれを前記第1使用位置で形成する後方壁(15)を含むことを特徴とする、請求項1ないし6のいずれか一項に記載の原動機付き車両用シート。

【請求項 8】

前記車両用シートが前記着座部材(1)を該着座部材の使用位置のうちの一方または他方の使用位置に係止する、前記着座部材の係止手段を含むことを特徴とする、請求項1ないし7のいずれか一項に記載の原動機付き車両用シート。